

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年8月28日

事業所番号	2774600635	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	㈱日本ケアコンサルティング	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
事業所名	グループホーム 柏原	評価調査日	平成 20 年 8 月 23 日
所在地	大阪府柏原市円明町11番17号 電話 072-975-0070	評価確定日	平成 20 年 9 月 5 日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	19人	常勤	4人
		非常勤	15人
		常勤換算	10.5人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造 4階建ての(2階～3階部分)
-------	-----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	30,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 250,000円	償却有	30ヶ月	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1300円	

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	1名	要介護2	8名		
要介護3	4名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 81才	最低	67才	最高	97才
(5) 協力医療機関名	谷口歯科 医療法人清晃会ヤスダクリニック				

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

管理者の熱心な指導により、利用者に寄添った気付きの介護を、引き続き実施している。職員のモラルも向上して勤務が定着し、日常業務の流れを基とするのではなく、利用者に応じた適切な介護を進めており、希望に応じた散歩もよく実施している。従って、ご家族も本人に合った介護に感謝しており入所以来、認知症の症状が安定し、むしろ改善されていることについて感謝されている方々も多い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域の区長さんのご協力により、地域の方々とホームとの関係は大きく改善され、地域の行事への勧誘と参加ができ、特に、消防署との緊急避難訓練にも参加していただいている。職員の研修については、運営者から重点事項として指示があり、内部、並びに外部研修とも研修内容、実施状況とも充実している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組みは、管理者と計画作成者及び、職員との検討会により、まとめている。また、日常生活の基本は、業務中心ではなく、ホームの経営理念のもと、利用者に寄添った気付きの対応を実施している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議は2ヶ月毎に開催しているが、協議内容は毎回、テーマを定めての話し合いと質疑応答で、特に、地域の区長さんのご配慮で、ホームと地域との交流が徐々に深まり、過日の消防署との避難訓練にも地域の方々の参加があり、ご協力に感謝している
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	家族の意見、苦情、不安等は、毎月支払いに持参して頂けるご家族が多く、その際には、管理者、職員が面談し、報告を兼ねて話し合いをしている。又、率直なご提案や、質問等については、出来る限り、管理者が対応し、改善が進んでいる。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議を通して、区長さんのご努力により地元の自治会との関係は改善されてきており、ホームは大変感謝している。ホーム側も日常の散歩で地域の方々には積極的にご挨拶をしているが、今後とも地元の方々とは些細なことから交流を深めて行きたいと願っている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「穏やかに普通の生活を送る事」「心身の痛みを緩和する事」「自分でできる事への喜び自信を持つ事」を3大理念として毎日、実行に努めている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	出勤時間に合わせて朝礼を実施、理念の読み上げ、管理者からの伝達事項、その他の引継ぎ、連絡事項の確認をしている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議の開催で、自治会に入会でき、区長さんから、各種の案内を頂いている。その上、老人会ボランティアの援助も頂いている	○	地域の自治会、老人会への、お礼と感謝を兼ねて、影の支援を見つけて実行して欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4		○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は外部評価の意義を理解し、今回も管理者、計画作成者が中心となって職員との検討を実施した		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に開催され、テーマに従って検討と、報告等の話し合いをしてきている。老人会長さんのご努力で、ホームと地域の方々との交流は大きく改善している		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を通して、市役所のご担当者との交流、研修会への積極的な参加などが行われている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の利用料、その他の支払いにご家族が来訪された時に、体調や、症状等の様子の説明をしている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族に出来るだけ、利用料の支払いに来訪して頂いている。その際、ご意見、苦情等を聞き出すようにしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎朝2階3階の利用者、職員が4階の広間に集まって、一緒になって体操、合唱等のひとりで、交流を図っている。このため全員が顔見知りになり、職員の異動等による不安感も余りない状況となっている		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定例の会議、外部研修会等での受講者の報告も含めて研修を実施している	○	職員の研修計画を年度毎に作成把握して、必要な人と研修項目が洩れなく実施できるよう努めて欲しい
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	周辺の同業者との交流会を不定期ではあるが開催し、情報の交換を深めている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	急ぐことなく、本人、家族が納得して頂けるように、体験入居も含めて工夫している		
--	-------	--	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の意向を尊重して、日頃の介護に当たっている。本人ができる事には見守り、出来ないことについても励ましながら、ゆっくりと支え合う介護をしている		
--	-------	---	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いを大切にし、可能な限り、希望に沿った生活をしていただけるよう配慮している		
--	-------	---	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が日常、如何にして利用者に喜んで頂けるかを考え、見つけ出す努力を続けている。介護計画は利用者家族の意向に沿って作成している	○	利用者への支援を効果的に進めていくために、まず記録方式を決めてください。次に皆で話し合い、職員のチームによる働きで、どのようにすれば、効率よく記録がとれるようになるか。やってみながら、話し合いしながら、進めて欲しい
--	-------	--	---	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画期間内でも利用者の変化が見つけられた場合は、職員とのカンファレンスを始め、家族、その他の意見等で変更をしている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状況に応じて、事業所ができる範囲内のことは柔軟に支援している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	内科医は月2回の往診、随時、必要に応じての往診をいただき、歯科医は週1回の往診を頂いている。内科医は24時間体制で診ていただいている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームドクターを中心に訪問看護師、職員、家族と繰り返し話し合い、その方に合った方針で支援をし、その上で職員全員が情報の共有をして、支援介護を行って来ている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常生活でもプライバシーを守るよう職員は注意を払っている。個人情報の扱いについても入念に、職員間で注意し合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの日課中心ではなく、一人ひとりの生活に合わせた介護であるよう支援している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一応、定められたメニューではあるが、個人の希望、体調に合わせた調理が行われている。又、準備、片付け等は出来る方と一緒にしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		出来るだけ希望に合わせた入浴をして頂いている。拒否される方に対しては、入浴方法、時間等で対応している

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		散歩、買物、花壇等の手入れや、屋内では食器の片付け、洗濯物の手伝いなどで、日常生活を送ってもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		天気の良い日には散歩に出かけたり、希望により、買物等の外出支援をしている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		日中は玄関の鍵は掛けずにしており、又、各階の職員はエレベーター前についても、細心の注意を払っている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		今年は7月9日に消防署の指導で避難訓練を実施している。その際、地域の老人会長さん等の立ち会いをして頂いている

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		その人の嚥下状態に合った食事の提供をしている。食事と水分、摂取量、体重の管理が出来る
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		エアコンは温湿度計でチェックして管理されており、特に、季節感、家庭的な感覚で室内は配慮されている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室は本人が居心地の良いように、好みのものを使用している